

## 施工手順書⑥-3

## ヴェトロリベルタ(VETRO Liberta)

## スイング戸

## サイドガラスセット(固定タイプ)

※サイドガラスセット(脱着タイプ)は『4 周辺部材 サイドガラスセット(脱着タイプ)』をご覧ください

## ステルス枠 施工手順書一覧

## 共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。  
※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。  
※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事	①-1.ステルス枠・標準仕様 / ①-2.ステルス枠・準耐火仕様
②クロス・塗り壁工事 (ステルス枠・インセット枠共通)	①-3.インセット枠仕様
③扉・金物の取 (ステルス枠・インセット枠共通)	③-1. 片開き戸、親子戸 ③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊) ③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動) ③-4. 片引き戸(床付レール)

## シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット	④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、連続開き戸 ④-3. スライド片開き戸
⑤オートマチックドア	⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸
⑥ヴェトロ・ミラノ・リベルタ	⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸 ⑥-3. スイング戸
⑦カエサル	⑦-1. スイング戸、両スイング戸、サイドガラスユニット ⑦-2. アウトセット片引き戸(上吊)
⑧マルコ	⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)
⑨フィット	⑨-1. スイング戸 ⑨-2. 片引き戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)、引分け戸

# 施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



注意

## ● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。  
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



## ● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



## ● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。  
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。  
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。  
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

## ● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。  
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。  
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。  
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

# □ スイングドア

ヴェトロ リベルタ

## 【ヴェトロ リベルタ専用】

### ■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

施工手順書2025/1改訂

建具		必ず2人以上で吊り込みしてください。					
部材	数量	備考		同	梱	品	
扉 (ガラス)	1枚	ガラスのため 取扱注意					
<p>強化ガラス(厚み10mm) ハンドル取付治具</p>							

建具金物箱		ハンドル	ガラスクリーナー	上部ヒンジ受け	上部ヒンジ取付ビス
部材	数量	備考			
金物箱	10セットに付1箱				 M4.1x25 2本
<p>邸別段ボール箱</p>		下部ヒンジ受け		下部ヒンジ受け取付ビス	
			※フロアヒンジは 面付タイプです。 床へ埋め込まないで ください		木下地用  M6x35 2本
		化粧プレート		下部ヒンジ受けアンカー	
				RC用  M8x30 2本	
同	扉側下部ヒンジ	扉側上部ヒンジ	化粧カバー		
	 含む、成形パッキン 及び金属プレート 1セット	 含む、成形パッキン 及び金属プレート 1セット	 2セット		
品	トルクレンチ	六角ソケット(3mm)	六角ソケット(5mm)		
	 1本	 1ヶ	 1ヶ		
	六角レンチ(1.5mm)	六角レンチ(2.5mm)	六角レンチ(3mm)	六角レンチ(5mm)	
	 化粧カバー取付け用 1ヶ	 速度調整用 1ヶ	 扉側下部ヒンジ用 1ヶ	 扉側上部ヒンジ用 1ヶ	

# □ スイングドア

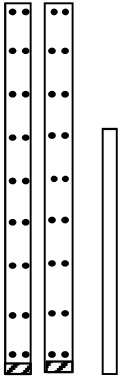
ヴェトロ リベルタ



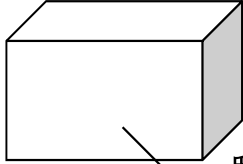
## 【ヴェトロ リベルタ専用】

施工手順書2025/1改訂

### ■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

下地枠			同			
部材	数量	備考				
縦枠下地	2本		同			
開口定規	1本	下地枠内寸法用				
			梱			
			品			

下地金物箱			ダンドリビス	施工手順書		
部材	数量	備考				
金物箱	10セットに付1箱					
 <p>邸別段ボール箱</p>						
			梱			
			品			

# □ヴェトロ リベルタ スイング戸

ヴェトロ リベルタ

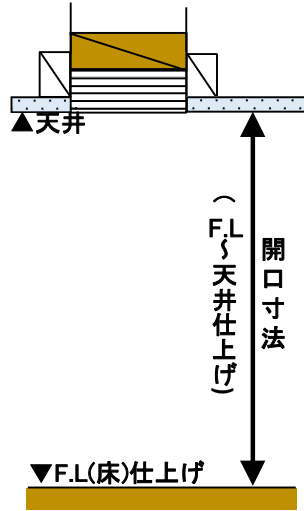
施工手順書2025/1改訂

## 1 開口寸法の確認

縦・横の開口寸法を確認

※縦の開口寸法（FL~天井）は+2mmを超えてしまうと、不具合（ガタツキや異音）の原因となるため、開口寸法を守って施工してください。

※床は沈み込みが無いように施工してください。ガタツキの原因となります。



縦方向の開口確認

※+2mmを超えると不具合（ガタツキや異音）の原因となります

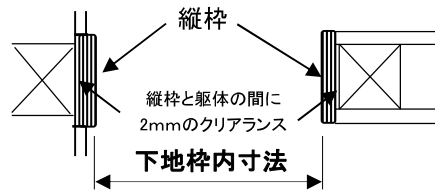
横方向の開口確認

**注意** ※縦方向の開口は指定の寸法から+2mmを超えるとガタツキや異音発生の原因となる為、開口寸法を守って施工してください。

## 2 縦枠の取付け

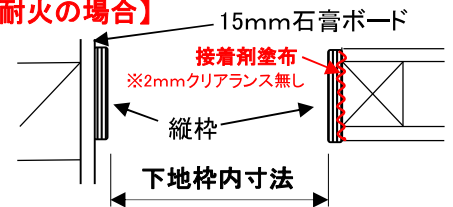
【サイドガラス無しの場合】

開口寸法を確認して柱に縦枠を取付け。



縦枠を取付け後、開口寸法の確認  
柱と縦枠の間には2mmのクリアランスを設ける

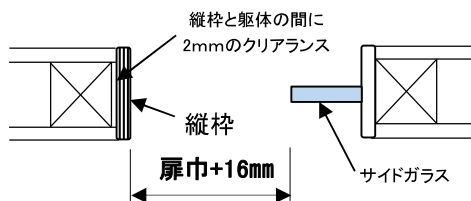
【準耐火の場合】



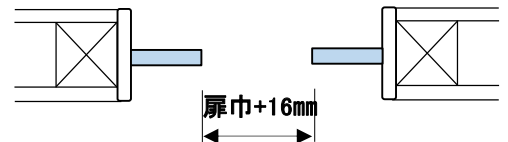
壁平面に取付けの場合、  
15mm石膏ボードの上から縦枠を取付ける

【サイドガラス有りの場合】

サイドガラスが入る側には縦枠は取付きません。  
サイドガラスからの開口寸法をご確認ください。  
※サイドガラスの施工方法は本手順書のp12~をご覧ください。



【片側サイドガラスの場合】  
サイドガラスの無い方に縦枠を取付けてる  
躯体と縦枠の間には2mmのクリアランスを設ける



【両側サイドガラスの場合】  
縦枠の取付け無し  
サイドガラス間の寸法を確認する

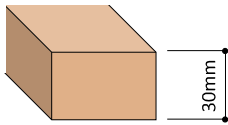

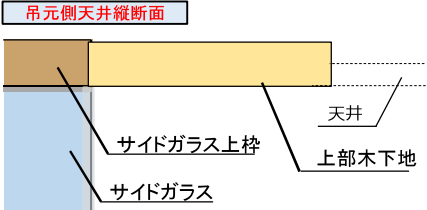
**注意** ※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。  
※標準納まりの場合、躯体と縦枠の間には2mmのクリアランスを設けてください。準耐火納まりの場合は2mmのクリアランスは必要ありません。  
※サイドガラスの施工手順に関しては本施工手順書のp12~をご覧ください。

# □ヴェトロ リベルタ スイング戸

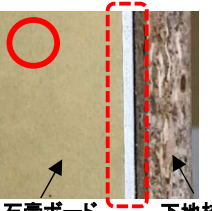
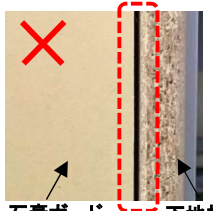

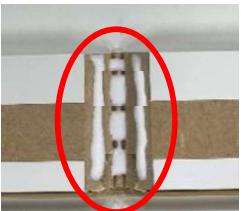
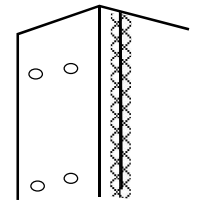
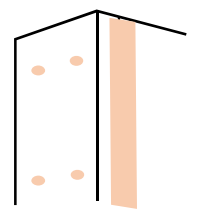
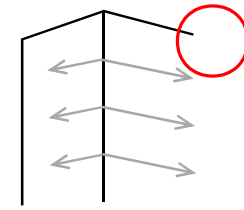
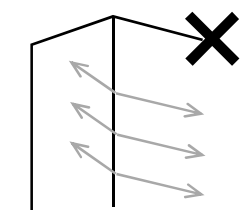
ヴェトロ リベルタ

施工手順書2025/1改訂

## 3 上部木下地の取付け

<p>① 【サイドガラス無しの場合】</p> <p>吊元側天井に上部ヒンジ受けを取付けるため、厚み30mmの上部木下地を取付けてください。この時、上部木下地は天井高さに合わせてください。</p>	<p>上部木下地</p> 	<p>吊元側天井縦断面</p>	<p>吊元側天井見上げ写真</p> 	
	<p>上部木下地を用意する (厚み30mm)</p>	<p>上部木下地の下端を天井面に合わせて取付ける</p>		
<p>② 【吊元側サイドガラス付きの場合】</p> <p>吊元側天井側に上部ヒンジ受けを取付ける為、厚み30mmの上部木下地を取付けてください。取付位置はサイドガラスの上枠面から取付けてください。</p>	<p>上部木下地</p>	<p>吊元側天井縦断面</p> 		
	<p>上部木下地を用意する (厚み30mm)</p>	<p>サイドガラス上枠から上部ヒンジ受けを取付ける位置に合わせて上部木下地を取付ける</p>		
<p><b>注意</b></p>	<p>※上部木下地は必ず厚み<b>30mm以上</b>にしてください。</p>			

## 4 石膏ボード・巾木・クロス施工

<p>① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。 (接着剤は酢ビ系をお勧めします) ※縦枠に突き付ける石膏ボードは面を取り枠との間に隙間が出ないように取付けてください。</p>	 <p>石膏ボード 下地枠</p>	 <p>石膏ボード 下地枠</p>		
	<p>石膏ボードを面取して枠との隙間を無くす</p>	<p>枠と石膏ボードの隙間が空いてしまっている</p>	<p>接着剤全面塗布</p>	<p>Vカット部分も接着剤を塗布する</p>
<p>② 縦枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。 下地処理が完了した後でクロスを貼ってください。 金物加工部をまたいでクロスを貼ってください。</p>				
	<p>ジョイント部をまたいでメッシュテープを貼る</p>	<p>ビス穴、メッシュテープ部、及び縦枠の木口面全体にパテを塗る(下塗り、上塗り)</p>	<p>枠に巻き込む際、クロスは上下左右余裕をもったサイズでまっすぐ貼る</p>	<p>クロスを過度な力で斜めに引っ張りながら貼るとクロスよれの原因となります</p>
<p><b>注意</b></p>	<p>※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(クロス仕様の場合：高さ30mm×深さ7mm)。 ※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな賀無いようにしてください。</p>			



# □ヴェトロ リベルタ スイング戸

ヴェトロ リベルタ  
施工手順書2025/1改訂

## 5 ヒンジ受けの前の注意

<b>注意</b>	<p>※レーザー墨出し機などを用い、上下のヒンジ中心を正しく墨出しする様にしてください。                  ※上部ヒンジ受けのセンターは下部ヒンジ受けのセンターとずれないように取付ける</p>	<div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block;"><b>注意</b></div>

## 6 上部ヒンジ受けの取付

<p>① 図の様に上部木下地に上部ヒンジ受けの位置決めをして、取付用下穴加工 (φ3.5) をしてください。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">吊元側天井見上げ図</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">吊元側天井見上げ図</div>	
	<p>上部ヒンジ受け取付位置</p>	<p><b>【吊元側サイドガラスの場合】</b>                  サイドガラス端部から64mmの位置に取付ける</p>	
<p>② 上部ヒンジ受けを同梱ビス (M4.1×25) でガタつきの無いように取付けてください。</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ピボッドヒンジの組換え</div>	
	<p>上部ヒンジ受けを同梱ビス (M4.1×25) で取付ける。</p>	<p>a.</p>	<p>b.</p>
<p>③ a. 扉上部ヒンジに取付けられたピボット軸受けを取外し、上部ヒンジ受けに取付けます。ピボット軸受けに組み込まれたナットは落ちないようにマスキングテープを貼り付けておきます。                  b. 取付にはトルクレンチを使用します。</p>	<p>a</p>	<p>b</p>	
	<p>ピボット軸受けを上部ヒンジに取付ける</p>	<p>トルクレンチで取付ける</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 5px;"> <span style="background-color: red; color: white; padding: 2px 5px;">締付トルク</span>    <span style="background-color: red; color: white; padding: 2px 5px;">6N・m</span> </div>	
<b>注意</b>	<p>・取付にはトルクレンチを使用します。トルクレンチの使用方法はp 10~を参照してください。                  ・正しいトルクで取付けて下さい。脱落の恐れがあります。</p>		



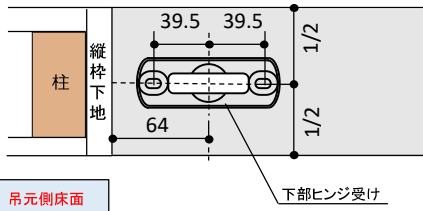
## 7 下部ヒンジ受けの取付け（面付）

- ① 吊元側床面に下部ヒンジ受けの取付用下穴加工（φ4）をしてください。

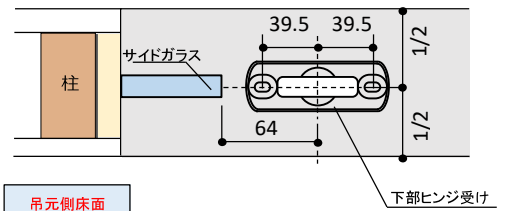
※下部ヒンジ受けは**面付タイプ**です。**埋め込まない**てください。

※下部ヒンジ受けは傾きのない**平滑な場所**に取付けて下さい。

【サイドガラス無しの場合】



【吊元側サイドガラス付きの場合】



- ② 下穴加工位置に合わせて、下部ヒンジ受けを下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）2本で止めてください。



### 注意

- ※床は沈み込み等無いよう施工してください。扉のガタツキや異音の原因となります。
- ※フロアヒンジは面付タイプです。埋め込まないてください。
- ※下穴加工は寸法通りあけてください。下穴加工位置がずれると下部フロアヒンジ受けが斜めに取付いてしまいます。

# □ヴェトロ リベルタ スイング戸

ヴェトロ リベルタ

施工手順書2025/1改訂

## 8 扉側ヒンジ金物取付時の注意

**注意**

- ※扉側ヒンジ金物の取付は、扉（ガラス）を養生をした作業台の上に寝かせた状態で作業してください。
- ※取付にはトルクレンチを使用します。トルクレンチの使用方法は“トルクレンチの取扱い”を参照してください。
- ※正しいトルクで取付して下さい。脱落やガラス破損の恐れがあります。
- ※正しく組付けられないとガラスの脱落に繋がります。
- ※作業する際はガラス(扉)の上に物置かないで下さい、また、ガラスの小口面に物をぶつけない様にして下さい。ガラスの破損、傷が付く恐れがあります。



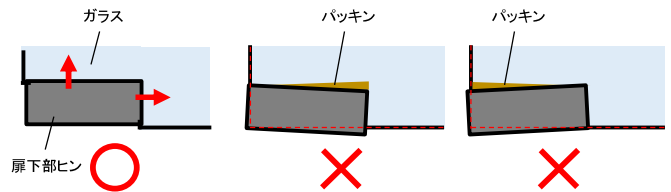
## 9 扉側ヒンジ金物の取付

- ① 樹脂パッキンを選択し、扉側ヒンジ所定の位置に組み込みます。

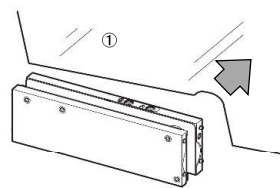
	隙間に入れるパッキンの厚み
隙間①	1mm x 1枚
隙間②	0.5mm x 1枚 + 1mm x 1枚

**注意**

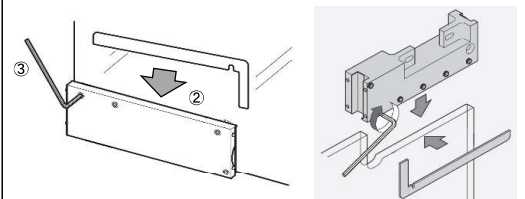
- ※ガラス厚10mmの場合、パッキンはすべて使用します。
- ※正しく組付けられないとガラスの脱落に繋がります。
- ガラスの加工部に沿ってヒンジを突き当たる所まで押し込み
- パッキンがはみ出さない様にネジを仮組し、トルクレンチ使用し規定トルクで締付けます。



- ② ガラスにヒンジを取付けます。六角レンチ(3mm)でガラスに軽く当たる所までネジをそれぞれ締めます。締め込んだ状態で、樹脂パッキンがズレていないか確認してください。



扉下部ヒンジをガラスに取付けます。ヒンジが突き当たるところまで押し込む



樹脂パッキンを入れて、ネジが軽く当たるまで六角レンチ(3mm)で締め込みます。

- ③ トルクレンチを使用して既定のトルクで締め込みます。



規定トルクで締付ける

締付トルク

3.6N・m



規定トルクで締付ける

締付トルク

3.6N・m

# □ヴェトロ リベルタ スイング戸

ヴェトロ リベルタ

施工手順書2025/1改訂

## 10 扉吊り込み時の注意

<b>注意</b>	※つり込み作業は、2名以上で行ってください。
	※扉は閉じた状態になる様に吊り込んでください。
	※取付にはトルクレンチを使用します。トルクレンチの使用方法は“トルクレンチの取扱い”を参照してください。
	※正しいトルクで取付して下さい。脱落やガラス破損の恐れがあります。 ※作業する際はガラス(扉)の上に物置かないで下さい、また、ガラスの小口面に物をぶつけない様にして下さい。ガラスの破損、傷が付く恐れがあります。

## 11 扉の吊り込み

<p>① 扉下部ヒンジの軸にジョイントを取付けた状態で、下部ヒンジ受けにセットして扉を立ち上げます。</p> <p>※ジョイントを取付けた状態で下部ヒンジ受けにセットする事が重要です。 ※扉は閉じた状態で吊り込みます。</p>	<p>扉下部ヒンジの軸 ① 扉側下部ヒンジのジョイン ② 下部ヒンジ受け</p>			
<p>② 上側のピボット軸受けを扉上部ヒンジに通し、ピボット軸受けを回転させてボルトで仮止めします。</p>	<p>長い 短い 上部ヒンジ受け ピボット軸受け 戸</p>	<p>長穴 ボルト ボルト</p>		
	<p>ピボット軸受けの長い方を戸先側にセットする</p>	<p>傾き調整用長穴にボルトを入れて仮止めをする</p>		
<p>③ 仮止めしたボルトで傾きを調整します。調整後トルクレンチを使用して既定のトルクで締め込みます。 本締めする。</p>	<p>7mm 8mm 8mm 14mm 正常な位置 正常な位置</p>	<p>ボルト</p>		
	<p>傾きの調整</p>	<p>規定トルクで締め付ける</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="background-color: red; color: white;">締付トルク</td> <td style="background-color: red; color: white;">6N・m</td> </tr> </table>	締付トルク	6N・m
締付トルク	6N・m			

<b>注意</b>	※必ずトルクレンチを使用して指定のトルクで締め付けて下さい。また、定期的に締め直しを行ってください。
-----------	--

# □ヴェトロ リベルタ スイング戸

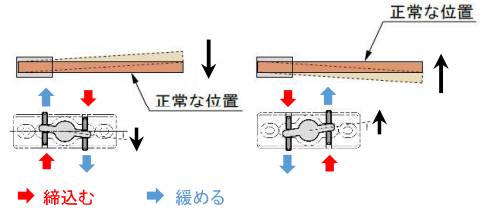
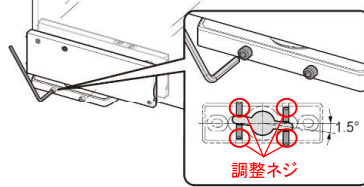
ヴェトロ リベルタ

施工手順書2025/1改訂

## 12 扉の閉鎖位置調整 及び 開口との隙間調整

- ① 先ず、下部ヒンジ受けの4箇所全ての調整ネジを六角レンチ(3mm)で緩めてください。  
扉の閉鎖位置が正常な位置となるように調整してください。

### 扉の閉鎖位置調整



4箇所調整ネジ(赤矢印部)を六角レンチ(3mm)で「扉の閉鎖位置」を調整

- 注意**  
※調整をする時は、4箇所調整ネジを全て緩めてから調整をしてください。  
※調整は、必ず4本全ての調整ネジを締め込んでください。締め忘れると使用中に位置がズレてしまいます。

## 13 開閉速度の調整

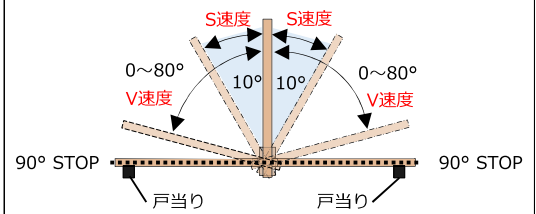
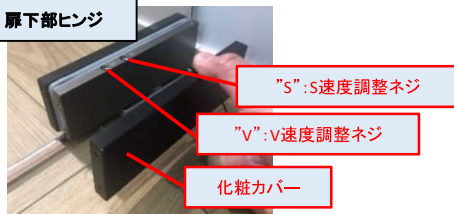
- 注意**  
※扉は90°以上開かないようにしてください。金物が破損する恐れがあります。  
※必ず戸当りを設置して、90°以上開かないようにしてください。  
※戸当りは扉幅中心よりも戸先側に取付けてください。  
※S速度はラッチ付き扉用の機能でこの扉には使用しません、ネジは締め込む方向に全閉状態(遅い状態)を推奨します。

- ① 扉下部ヒンジにあるV速度調整ネジを回して開閉速度の調整をしてください。

### 【調整範囲】

- ・V速度  
開閉角度 0°~80°
- ・S速度  
開閉角度 0°~10°

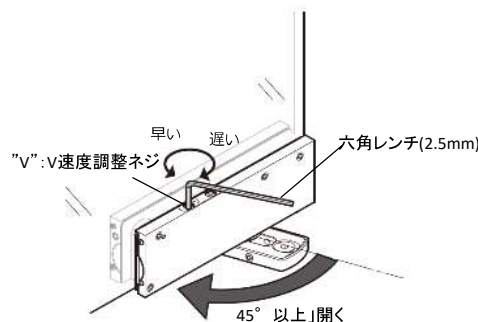
### 扉下部ヒンジ



扉下部ヒンジにある開閉速度調整ネジを六角レンチ(2.5mm)で回して開閉速度を調整して下さい。  
S速度の機能は使用しないので、調整ネジは全閉して下さい。

- 注意**  
※開閉速度調整ネジを締め過ぎないでください。締め過ぎると扉が動かなくなります。  
※開閉速度調整ネジを必要以上に回転操作すると、閉扉動作に支障をきたしたり、油が漏れ出るおそれがあります。

- ② 扉を45°以上開き、V速度調整ネジを回し、0°~60°の閉じ速度の調整を行う。

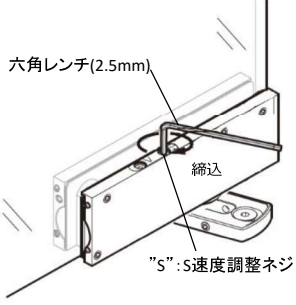


- 注意**  
※扉の開閉を繰り返し、ソフトクロー징機構が遅くなる場合は、S速度調整ねじを少しゆるめてください。

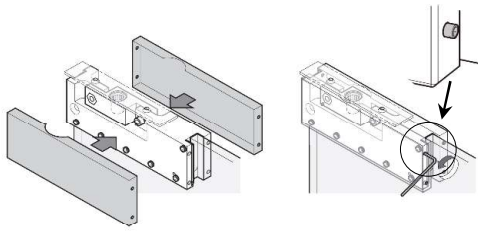
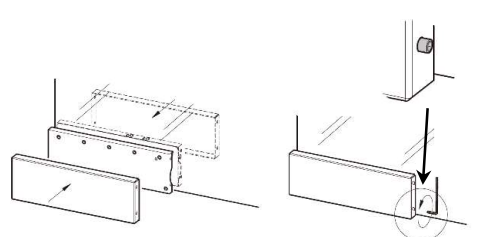
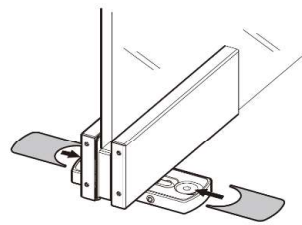
# □ヴェトロ リベルタ スイング戸

ヴェトロ リベルタ

施工手順書2025/1改訂

<p>③ 全閉（調整ネジを右回しする）を推奨します。 必要に応じて調整を行ってください。 ・扉を45°以上開き、10°まで閉まってきたら、S速度（ラッチの引き込み）調整ねじを回し、閉じ速度加速調整を行う。</p>		
<p><b>注意</b></p>	<p>※S速度は、ドアラッチの抵抗に対応するための機能です。本品では使用しない機能です。 ※S速度調整ネジを締切ると、加速されずV速度のままとなります。</p>	

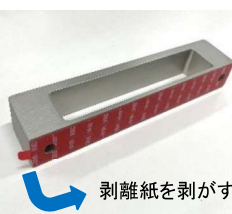
## 14 カバーの取付

<p>① カバーをかぶせ、本体側面の止めネジを先端が、カバーの穴から完全に出るまで反時計回りに回す。</p>		
<p>② 下部ヒンジ受けに、化粧カバーを取り付ける。 化粧カバーの保護フィルムは剥がしてください。</p>		

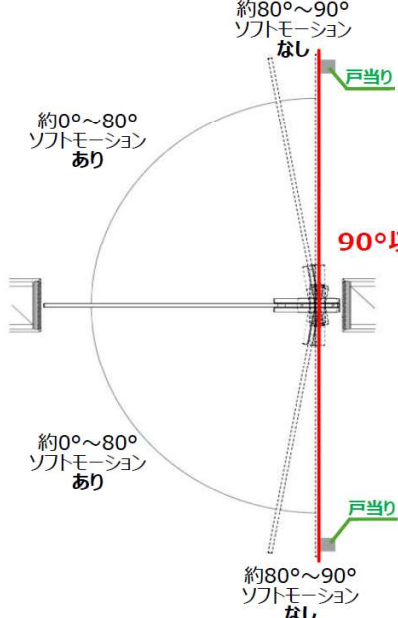
# □ヴェトロ リベルタ スイング戸

ヴェトロ リベルタ  
施工手順書2025/1改訂

## 15 ハンドルの取付




<p>① ガラスを同梱のアルコールシートで拭き取り、表面の埃や汚れを落としてください。 その後、同梱のハンドル取付治具を仮止めをします。 <b>※型紙の取付治具は使用しないでください</b></p>	 <p>ガラスについている埃や汚れをシートで拭き取る</p>	<p><b>取付治具の合わせ方</b></p> 	
<p>② ハンドル裏の赤い剥離紙を剥がし、取付治具に合わせてハンドルを取付けてください。 裏側のハンドルも表面に取付けたハンドルに合わせて取付けてください。</p>	 <p>剥離紙を剥がす</p> <p>剥離紙を剥がす</p>		
<p><b>注意</b></p> <p>※必ずガラスの表面を綺麗にしてから取付けてください。汚れや埃が残っていると接着されない恐れがあります。 ※両面テープを一度貼り付けると外せなくなる為、位置を間違わないように、またズレないように十分に注意して取付けて下さい。 ※必ずガラスクリーナーでガラスを拭いてから引手を取付けてください。引手が外れる恐れがあります。</p>			

## ※ 注意事項

<p>金物は90°以上開きますが、90°以上開くと金物が破損する恐れがあるので、90°開かないよう戸当たりをつけてください。</p>		<p>※90°未満の場合でも扉と干渉するものがある場合は戸当たりを取付けてください</p> <p>※戸当りは扉幅の中央より戸先側に取付けてください</p>
<p>※戸当りは扉幅の中央より戸先側に取付けてください。</p>		



## 16 トルクの設定方法

<p>① (例) 3.6N・mに設定する場合次の手順でトルク設定を行います。</p>	 <p>a. グリップエンドのロックねじを解除する。</p>	 <p>b. 副目盛ダイヤルを回し、主目盛を基準線3N・mに合わせる。</p>	 <p>c. 主目盛を3N・mに合わせる。</p>	 <p>d. 更に副目盛ダイヤルを回し0.6N・mに合わせる。</p>	 <p>e. グリップエンドのロックねじをロックする。</p>
--	---	--	--	--	--

## 17 トルクレンチの使用方法

<p><b>注意</b></p>	<p>※このトルクレンチは、締める（回す）方向が決まっています。締め込む以外の用途には使用しないで下さい。 ※過度なトルクで締め込まないで下さい。トルクレンチの故障の原因となります。</p>	 <p>トルクレンチ回転方向</p>
<p>① ボルト等のサイズに合わせたソケットをトルクレンチに取付けます。トルクレンチとソケットの間に隙間が出来ないようにしっかりと組み合わせて下さい。</p>	 <p>トルクレンチ ソケット</p>	 <p>トルクレンチとソケットの間に隙間が出来ないようにしっかりと組み合わせて下さい。</p>
<p>② a. 締付ける対象となるボルト等に工具を掛けて下さい。 b. マークラインに右手中指が掛かる様に握ります。</p>		 <p>マークライン</p>
<p>③ ヘッドの部分に左手を添えて、締めます。ゆっくりと締込み、“カチッ”と音がする所まで締めます。</p>	 <p>“カチッ”と音がするまで締めます。</p>	

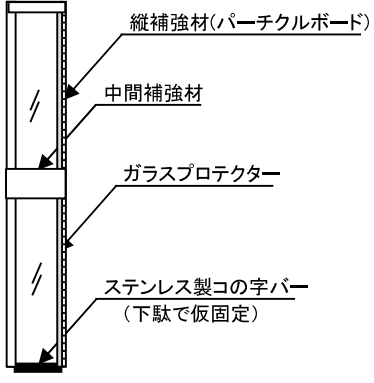
# □ サイドガラスセット(固定タイプ)

施工手順書2025/1改訂

## ■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

※サイドガラスセット(脱着タイプ)は『4 周辺部材 サイドガラスセット(脱着タイプ)』をご覧ください

造作材			施工手順書		
部材	数量	備考	同梱部品		
サイドガラス	1セット	ガラスは組込み済み ※ガラス下部のステンレス製コの字バーは接着剤で固定済み			
					

※1 ガラスは強化ガラスを使用しています。

※2 ガラスの交換はできません。

※3 納品時は袖ガラス下部にはコの字バーがLVLで仮固定されています。

※4 施工中はガラスを傷つけないように養生をしてください

※5 ガラスプロテクターは、お引き渡し後も取付けたままお使いいただくことを推奨いたします。



# □ サイドガラスセット(固定タイプ)

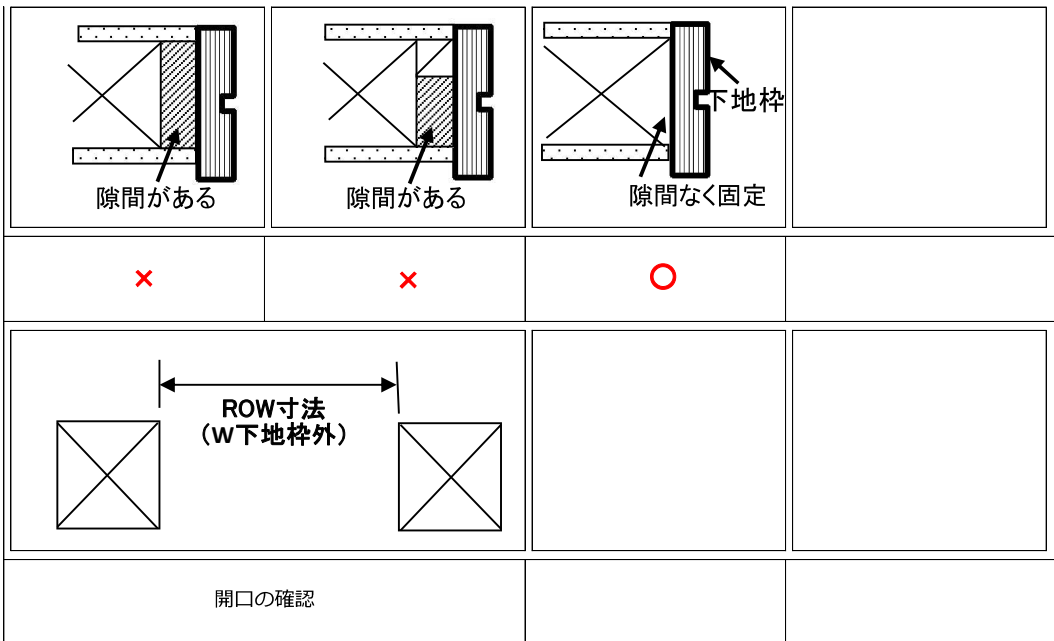
施工手順書2025/1改訂

※サイドガラスセット(脱着タイプ)は『4 周辺部材 サイドガラスセット(脱着タイプ)』をご覧ください

## 1 施工前の確認事項

- ① サイドガラスを設置する前に、開口部の中(図面:ROW寸法)と、高さ(図面:床仕上げ～開口高さ)、及び床仕上げの厚みを確認してください。

※サイドガラスの設置は、**ガラス下部のコの字バーが床仕上げ面より下に納まりますので床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。**

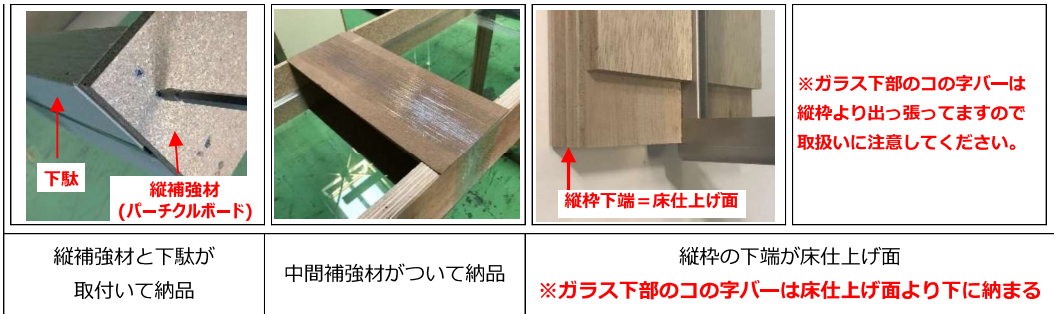


**注意**

※サイドガラスは躯体と面接合するように取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。  
 ※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。  
 ※サイドガラスのガラスは交換できません。

## 2 サイドガラスの設置・固定方法

- ① サイドガラスの設置前にガラス下部のコの字バーを保護している木材・下駄を取外します。  
**※サイドガラスの設置は床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。**



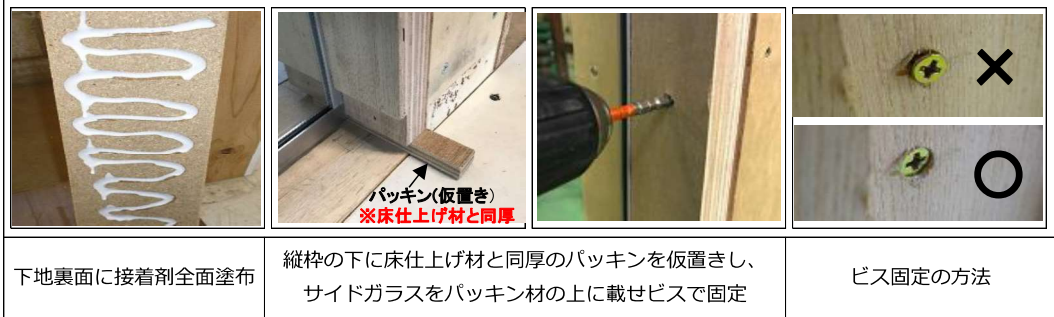
※ガラス下部のコの字バーは縦枠より出っ張ってますので取扱いに注意してください。

縦補強材と下駄が  
取付いて納品

中間補強材がついて納品

縦枠の下端が床仕上げ面  
**※ガラス下部のコの字バーは床仕上げ面より下に納まる**

- ② サイドガラスの設置前に縦枠の下に床仕上げ材と同じ厚みのパッキン材(現場手配品)を仮置きし、サイドガラスを載せ、酢ビ系接着剤併用にて取り付けビス(現場手配品)で躯体に固定してください。(下穴が開いていませんので、必ず下穴をあけてから取り付けてください)



下地裏面に接着剤全面塗布

パッキン(仮置き)  
**※床仕上げ材と同厚**  
 縦枠の下に床仕上げ材と同厚のパッキンを仮置きし、  
 サイドガラスをパッキン材の上に載せビスで固定

ビス固定の方法

**注意**

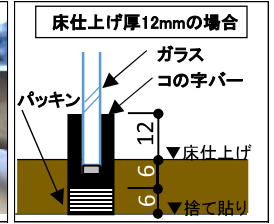
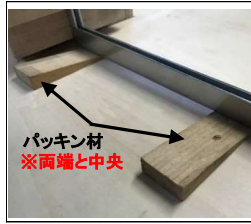
※サイドガラスの設置は床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。  
 ※縦枠の下端が床仕上げ面となります(後から施工する床仕上げ材が差し込めるようにしてください)。  
 ※サイドガラスを設置する際、パッキン材(仮置き)の上にガラス下部のコの字バーが載らないようにしてください(コの字バーが床仕上げ面より下に納まります)。  
 ※サイドガラスの取り付けビスはガラスをまたいで2列、300mmピッチ程度で固定してください。

# □ サイドガラスセット(固定タイプ)

施工手順書2025/1改訂

## 3 ガラス下部のコの字バーを固定し、床仕上げ材を取付ける

① サイドガラスの固定後、縦枠の下に仮置きしたパッキン材を取り外します。  
次にコの字バーが下にズレ落ちないようにパッキン材を3箇所(両端と中央)、コの字バーの下にしっかり入れてください。



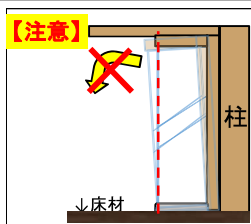
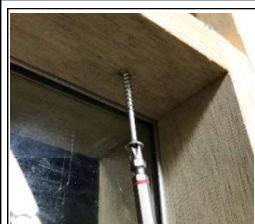
縦枠下端に仮置きしたパッキン材を抜く

コの字バーの下にパッキン材をしっかりと入れる

コの字バーの側面からパッキン材がはみ出さないよう切る

下記「注意」参照

② 上枠を天井に固定して、コの字バーを挟み込むように床仕上げ材を取付けます。



上枠を固定

垂れ下らないように垂直にしっかり固定

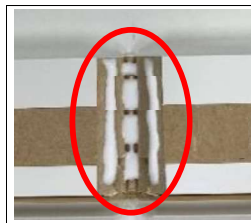
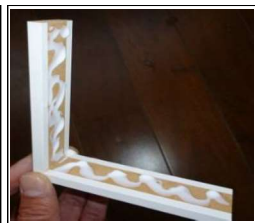
コの字バーを挟み込むように床仕上げ材を取付ける

**注意**

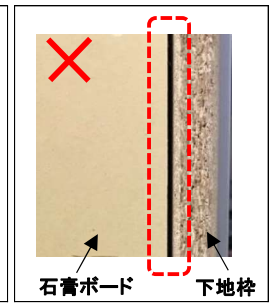
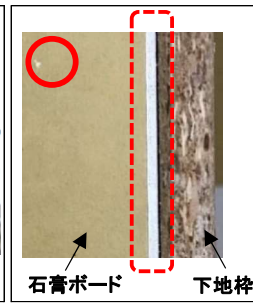
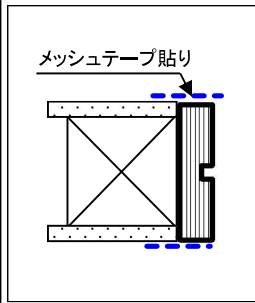
※コの字バーは床の捨て貼り面から浮いて設置されますので下にズレ落ちないようにパッキン材をしっかりと入れてください。  
※コの字バーの下に挿入するパッキン材の厚みは床仕上げ材(フローリング)の厚みにより異なります。  
参考; 床仕上げ厚12mmの場合: パッキンの厚み3mm、床仕上げ厚15mmの場合: 6mm  
但し、床捨て貼り面の不陸が大きい場合は現場にてパッキンの厚みを調整してください。  
※ガラスプロテクター側が垂れ落ちないようにしっかりと固定をしてください。

## 4 石膏ボード・幅木・クロス施工

① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。  
(接着剤は酢ビ系をお勧めします)



② 石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りを推奨)  
クロスは、ガラス押え部分(アルミ調見切材)で見切ってください。(ガラス押えの出寸法3mm)



※縦枠に突き付ける石膏ボードは面を取り枠との間に隙間が出ないように取付けてください。

メッシュテープ

ビス部分にもパテ処理

石膏ボードを面取して枠との隙間を無くす

枠と石膏ボードの隙間が空いてしまっている

**注意**

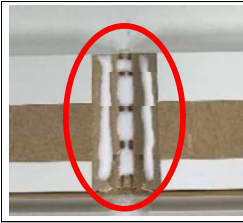
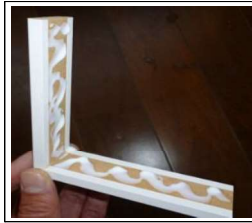
※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(クロス仕様の場合: 高さ30mm×深さ7mm)。  
※縦枠下端の幅木切欠き加工を無しにできます。ご注文の際に別途ご指定ください。  
※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな質無ないようにしてください。

# □ サイドガラスセット(固定タイプ)

施工手順書2025/1改訂

## 5 石膏ボード・幅木・塗り壁施工

① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。  
(接着剤は酢ビ系をお勧めします)



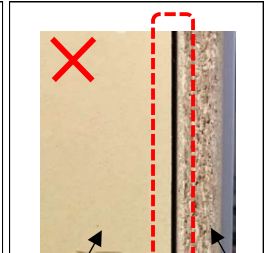
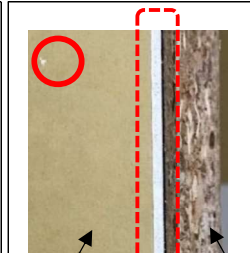
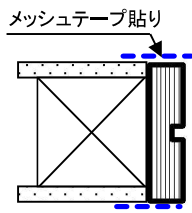
接着剤全面塗布

Vカット部分も接着剤を塗布する

縦枠下端の幅木切欠き加工部  
深さ4mm(塗り壁の場合)

シンプル幅木の取り付け

② ガラス・コの字バー・幅木に養生を行い、石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼り、パテ処理(2度塗りを推奨)をしてください。パテが乾燥後、下塗り材(アク止め入り)をムラなく塗り、1~2日乾燥させてください。その後、仕上げ材をムラなく塗り、3~4日乾燥させてください。



メッシュテープ

ビス部分にもパテ処理

石膏ボードを面取して枠との隙間を無くす

枠と石膏ボードの隙間が空いてしまっている

※縦枠に突き付ける石膏ボードは面を取り枠との間に隙間が出ないように取付けてください。

- 注意**
- ※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(塗り壁仕様の場合：高さ30mm×深さ4mm)。
  - ※縦枠下端の幅木切欠き加工を無しにできます。ご注文の際に別途ご指定ください。
  - ※塗り壁は、ガラス押え部分(アルミ調見切材)で見切ってください。但し、ガラス押えの出寸法が3mmのため塗り厚は3mm以下としてください。
  - ※漆喰の場合、アク止めは1回塗った後に十分乾燥させ、さらにもう1回塗って、1~2日乾燥させた後に上塗りを行ってください。
  - ※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな質無いようにしてください。

## 注 ガラスプロテクターについて

### 【ヴェトロリベルタサイドガラスの取注意】

- 工事中はガラスを傷つけないように養生をしてください。
- ガラスプロテクターは、お引渡し後も取付けたまま、お使いいただくことを推奨致します。



### ガラスプロテクター

ヴェトロリベルタのサイドガラスは強化ガラスです。ガラスエッジの保護材としてガラスプロテクターを取付けて納品してます。ガラスプロテクターは取外し可能ですが、お引き渡し後も取付けたままお使いいただくことを推奨致します。